

熊本県総合射撃場 業務報告書

(平成29年8月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ



平成29年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～2
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	維持管理状況	3～5
	1 施設・設備の維持管理	
	2 外構や植栽の維持管理	
	3 施設の衛生管理	
	4 安全管理	
	5 環境保全体制	
IV	自主事業状況	5
	1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム	
	2 その他の事業	
V	管理運営体制	6
	1 組織体制と人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	6～7
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 火災・地震災害時の対策・対応	
	3 気象災害時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県における射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、射撃場が持つ機能を最大限に発揮した管理運営を行う。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設利用料	
	8月期	前年度該当月	8月期	前年度該当月
熊本県総合射撃場	438人	0人	1,025,150円	0円
累 計	2,253人	260人	5,842,600円	646,180円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

前年度は、4月15日以降震災の影響で施設利用を休止しましたが、本年度は通常どおり供用を再開していることと、また国体の強化合宿等での利用もあり利用者数、施設利用料共に増となっています。

(2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

8月は、利用者からの苦情、要望等はありませんでした。

2 利用者の増加を図るための具体的な取組

(1) 利用者への情報提供

各情報は、ホームページ、パンフレット、リーフレットにより提供しています。

(2) 利用拡大のための取組内容

8月は、利用拡大のための取組はありませんでした。

(3) 地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

8月は、地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働はありませんでした。

3 サービス向上を図るための具体的な取組

(1) サービス向上のための取組内容

①利用者主体のサービス環境づくり

大会名	実施内容	開催日
宮崎大会	スキー・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用機・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	5日
第三次熊本公式大会	スキー・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用機・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	13日
S B 月例会	S B 電子標的ゴムロール移動間隔の設定変え	27日

②利便性の向上

[様々なサービス提供]

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・携帯電話充電器 ・コピーファックスサービス ・雨傘の無料貸出

③その他の取組

[地域への貢献]

実施日	場 所	内 容
2日	モニュメント	草刈り、集草
25日	公道	ゴミ拾い

Ⅲ 維持管理状況

1 施設・設備の維持管理

(1) 保守管理

[職員による日常点検一覧]

業 務 名	業務内容	実施日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時

[委託による保守点検一覧(定期)]

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
自家用電気工作物保安管理	受電設備及び分電設備点検	隔月	16日
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の点検	毎月	28日
			異常無

(2) 修繕・改修

[自主修繕等一覧]

実施内容	場 所	実施日
排煙窓修繕	ライフル棟	3日

[業者修繕等一覧]

8月は、業者修繕はありませんでした。

2 外構や植栽の維持管理

射撃場内の樹木、芝生地、法面を景観の維持と災害予防の視点で、適切な管理を行っています。

[業者委託]

8月は、業者委託はありませんでした。

[職員作業]

場 所	実施内容	実施日
右側法面・ゲート左右 S B 射場平地・調整池入口 スキートA B・トラップA B ライフル棟前・管理棟周辺	草刈り・集草	2～7・10・11・21～ 24・27・28日
ライフル棟前・管理棟周辺	除草剤散布	3・17日
スキートA	ワッズ、クレー回収	17・18日

3 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[職員等による特別清掃内容]

8月は、職員等による特別清掃はありませんでした。

4 安全管理

(1) 保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応]

8月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分		業 務 内 容	実 施 予 定 時 期
職員実施		施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時	随時対応

5 環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実 施 日
鉛回収作業(職員により実施)	別添資料2参照
調整池 清掃・汚泥処分	別添資料3参照
水質検査	なし

IV 自主事業状況

1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	10:00～12:00	27日	0名

2 その他の事業

8月は、その他の事業はありませんでした。

V 管理運営体制

1 組織体制と人員配置

射撃場長（統括責任者）のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。
利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口（4～9月）	9:00～18:00	8:30～18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口（10～3月）	9:00～17:00	8:30～17:30	施設点検・供用準備を含む

2 職員研修

8月は、職員研修はありませんでした。

VI 緊急時対策体制

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[事故等に伴う職員の出勤]

8月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[常備機器・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区分	内容	対応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～31日

3 気象災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
台風	台風5号接近に伴う被害未然防止対策	クレー射場のネット下げ・側溝の防鉛網回収・施錠管理の徹底および飛散物発生防止点検	5・6日
台風	台風5号通過後の被害状況確認・点検等	破損個所の調査点検及び破損物、枝の撤去	7日

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症指標計で計測し、利用者に情報提供	定期計測 熱中症予防呼び掛け	1～31日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水、非常食等を備蓄しています。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

5 保険加入による補償体制

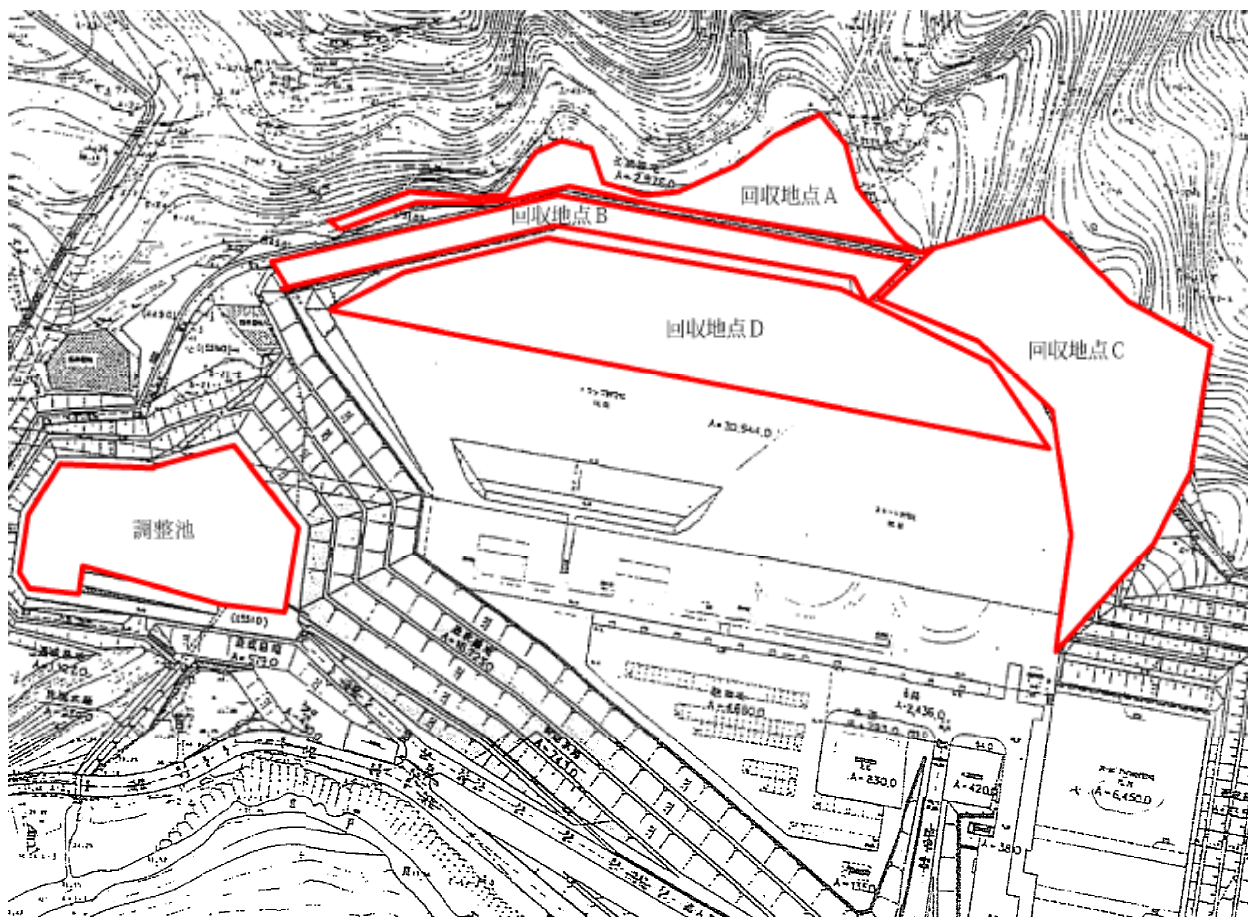
[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき5億円(1名につき3億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者傷害保険 (Chubb損害保険株式会社) ※旧エース損害保険株式会社	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円

実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
8日	125kg		○	○	○	○		
22日	234kg		○	○	○	○		
合 計	359kg	0kg	2	2	2	2	0kg	
累 計	2,591kg	0kg	9	9	9	9	0kg	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	19,434枚	0.024kg	約466.4kg	約2,711.5kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
14日	金	3人	クレー射撃場	40kg				射撃場職員での作業
25日	火	9人	クレー射撃場	451kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
4月回収量合計(12人)				491kg	0kg	0kg	0回	29,152枚×0.024kg=699kg
9日	火	13人	クレー射撃場	408kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
23日	火	13人	クレー射撃場	170kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
5月回収量合計(26人)				578kg	0kg	0kg	0回	16,841枚×0.024kg=404kg
6日	火	12人	クレー射撃場	340kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
20日	火	13人	クレー射撃場	315kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
6月回収量合計(25人)				655kg	0kg	0kg	0回	26,129枚×0.024kg=627kg
11日	火	11人	クレー射撃場	263kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
25日	火	11人	クレー射撃場	245kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
7月回収量合計(22人)				508kg	0kg	0kg	0回	21,423枚×0.024kg=514kg
8日	火	12人	クレー射撃場	125kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
22日	火	12人	クレー射撃場	234kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
8月回収量合計(24人)				359kg	0kg	0kg	0回	19,434枚×0.024kg=466kg
合計(延人数 109名)				2,591kg	0kg	0kg	0回	112,979枚×0.024kg=2,711kg(8月)
回収量／鉛散乱量 = 2,591kg／2,711kg = 95%(鉛回収率)								

* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。 * 側溝土砂には、若干の鉛を含む。